

平成 30 年度第 3 回タウンミーティング
～ 質疑応答（概要）～

① 防災訓練のあり方について

【質問・要望・意見 1】

防災訓練が超高齢化社会に対応していないのではないかと思います。元気な人だけが参加する訓練ではいけない。東習志野 5 丁目でも約 70 人の要支援者がいるので訓練に含めてほしい。過去には民生委員が関わった訓練もありましたが、実際の災害時は民生委員だけでは動けないので、市でも対応してほしい。（質問）

市長回答

いわゆる災害弱者に対応した訓練は行わなければならないと認識しています。訓練のやり方は検討してお示したいと思います。

ただし、災害時に市の職員はいつ来られるかわからないので、訓練も地域の方たちが中心となることを御理解いただきたいと思います。

【質問・要望・意見 2】

東習志野に住んでいる職員もたくさんいるので、避難所配備職員でなくても、もっと積極的に訓練に参加してほしい。（要望）

【質問・要望・意見 3】

要支援者のような特殊な個人情報を持ってないのは分かっていますが、町会でも名簿を作っているのが名前と住所だけの簡単な名簿はできないのでしょうか。（質問）

市長回答

市として法令に沿ったもの以外の名簿を作成することはできませんので、法令に沿ったものをできるだけ判りやすくする改善を続けます。

なお、災害時には要支援者名簿の共有はできるようになっています。

【質問・要望・意見 4】

共有できるという情報が共有できていません。市の職員は異動等で人が代わるとやり方が変わったり、継承できていなかったりすることがあります。しっかりとしたビジョンを持って、担当者が代わっても、やり方が変わることがないようにしてほしいです。（要望）

【質問・要望・意見 5】

現在の訓練は危機管理課主体で行っていますが、福祉の視点からも健康福祉部と共同で開催すべきではないでしょうか。（質問）

平成 30 年度第 3 回タウンミーティング
～ 質疑応答（概要）～

市長回答

現在、福祉避難所の開設や医療情報をアマチュア無線で伝達する訓練など、健康福祉部と行っています。

今、私がやろうとしていることは学校と協定を結ぶことです。避難所となる学校の先生は県の職員になるので、役割がありません。しかし、学校には先生しか知らない設備もありますし、先生たちは大人数を束ねる能力にも長けています。他市でやっているとところはありますが、是非やりたいと思っています。

【質問・要望・意見 6】

市と社会福祉協議会が別々に訓練をしていて、町会とも情報が共有できていません。（意見）

【質問・要望・意見 7】

共助というところで、市内の大企業やコンビニエンスストアと災害時の協定などはしているのでしょうか。（質問）

市長回答

本市は海浜部を中心に民間企業の倉庫がたくさんあることから、配送や物資の供給に関する協定を市内企業と結んでいます。

【質問・要望・意見 8】

平成 31 年度に東習志野の 8 つの町会で自主防災組織と町会長による協議会を立ち上げる予定です。災害時には備品を共有することも考えています。東習志野にある日立産機システムも加わり、消防車も派遣すると言ってくれています。（質問）

市長回答

地域間の協定はとても有効なものだと思います。東日本大震災の時も東習志野から秋津・香澄にお手伝いしていただきました。ありがとうございました。

【質問・要望・意見 9】

東日本大震災の際、サランラップが欲しいという要望があっただけを集めたのを覚えています。こうしてほしいと言ってくれば動けますが、救援に行ってもよいのかどうかも迷うと思います。（意見）

【質問・要望・意見 10】

避難所の運営主体は市ではなく地域であるということですね。訓練も含めて地域が主体となってやるのが私たちのためであるということです。ありがとうございました。（意見）